

## 不燃ゴミの運営問題について

市議会 三宅守人議員



**問** 過去の一般質問で再三、ゴミ問題を取り上げてきたが、搬入先のクリーンセンターにおいて、受入れ基準が厳しくなり、分類や収集方法を見直す必要があると説明されているが、その見直し年度と分別項目の変更並びに何が問題で受入れ拒否されているのか。

**答** クリーンセンターの受入れ基準が見直されたとは考えていない。クリーンセンターの搬入拒否については、分別作業の不慣れによる不適合物の混入が原因であり、集積所での分別の問題ではないと考えている。

**問** 山屋敷第2不燃物処理場には、分別未処理の不燃ゴミが大量にあるが、その処理の完了はいつになるのか。

**答** 分別作業場が本年度内に完成予定で、4月からは分別作業所で分別作業を開始する、平成30年度内には、第2不燃物処理場内のゴミの処理を完了する。

**問** 今後不燃物ゴミ分別作業の

効率を上げるため、クリーンセンターの機械設備の改良を進めるのか、人海戦術で対応するのか長期目標は。

**答** 不燃物の分別は、クリーンセンターを利用する刈谷市でも人海戦術で分別している。知立市においても人海戦術で考えている。



山屋敷第2不燃物処理場

## 子どもたちの豊かな育ちと高齢者福祉について

立志会 高木千恵子議員



**問** 通学路安全対策協議会が毎年開催され、登下校の見守りボランティアたちから通学路の危険箇所の指摘や改修要望が出される。毎回、同じ指摘箇所は、早急に改善をすべきでは。

**答** 改修要望箇所の問題点を分析し、的確に対応していきたい。

**問** 携帯電話やパソコンなどの普及により、ネット上のいじめや、有害情報などによる犯罪に巻き込まれないための対策は。

**答** 教育委員会主催の保護者も参加できる研修会や、通信関連業者の協力で、注意喚起。

**問** アレルギーや心臓病、糖尿病など疾病のある児童、生徒の把握と緊急時の対応は。

**答** 発症時の注意点など各学校単位で把握し、学校職員全員が同様の救急対応ができる体制。

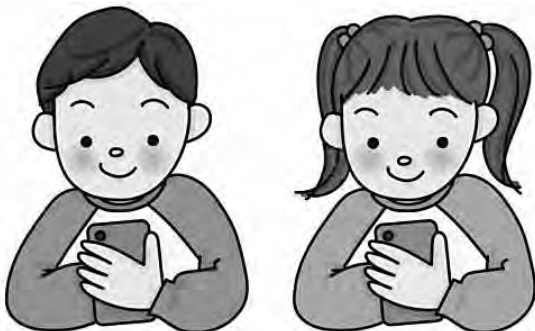
**問** 介護予防教室は、福祉の里八ツ田、保健センターなどで実施。参加しやすい施設をめざし、各施設のトイレ洋式化の促進を。

**答** トイレ洋式化の必要は感じ

ているので、引き続き検討。

**問** 突発的な疾患を持つ高齢者は、主治医の意見書等で、緊急通報装置など、福祉サービスの利用を可能にすべき。日中独居後期高齢者が福祉サービス利用時に、なぜ、介護認定が必要か。

**答** 医師の意見書と介護認定は別のもの。今後、研究検討。



## 今後の課題と観光事業について

市政会 池田滋彦 議員



**問** 市長の施政方針で、防災で南海トラフに触れたが拠点はない。災害拠点が必要ではない。

**答** 必要とは思いますが自助・共助・公助3つの基本理念を持ち行う。

**問** 事務事業の見直しとは。

**答** 政策的事務事業の見直し等を評価、効果を見極めていくが、組織変更や機構改革までは考えていない。結果は公表していく。

**問** 駅前の宿場町構想でモダンとあるが、どんな構想か。

**答** 知立の伝統に、現代的スタイルを取り込む考えである。

**問** かきつばたまつり中止とは。

**答** 保存会は例年通りの催しは行う。市としてキャラバン、ポスター等の宣伝は行わない。

**問** かきつばたの保存は保存会が真剣に取り組んでいる。委託事業だが今後、予算の増額は。

**答** 保存会と話し合いの上検討。

**問** 歴史的重要な文化財が資料館に展示してあるが保存環境が悪く今後建替か改修の考えは。

**答** 資料館が良くないのを感じ



八橋史跡保存館

ている。今後調査した後検討。放送設備が壊れて使えないが。

**答** 現状確認し前向きに検討。

**問** 観光案内所が交流センターになつていかなぜ変更なのか。

**答** 観光案内だけでなく人々が立ち寄り観光と交流を目的とする。

## 輝くまちづくり提案事業 災害に強いまちづくり

立志会 田中 健 議員



**問** 市民協働は、行政を取り巻く環境が変化していく中で、多様化する地域の課題の解決を市と市民がパートナーとして取り組んでいくもの。今年度より始まった協働事業提案制度は、十分に活かされていないが原因は。

**答** PR不足や手続きが課題。

**問** PRについて、対象となる事業は多岐にわたる。それぞれの所管の事業で、活動している市民に情報提供ができたか。

**答** 十分ではない。事業の趣旨を周知し、活かしていきたい。

**問** 審査会について、公開されず、職員のみ審査は問題ではないか。

**答** 初めてやってみて様々な意見もあるので、先進市も参考に公開や市民の参加も検討したい。

**問** 災害対策として、市はBCPを策定し、様々な協定を結び、備えを進めている。協定先のBCPの策定状況は把握できるか。

**答** 現在71の協定を結んでおり、商工会等との協定も現在協議中。発災時の一刻も早い事業再開に



はBCPが有効だが、協定先の半数近くは策定済みと確認した。

**問** 福祉避難所として協定した施設は、有事の際の重要施設のため、BCP策定を推進された。

**答** 福祉専門のBCP策定を支援する団体の研修を活用しては

低いので、研修を提案していく。

※BCP … 大災害などで、通常の業務遂行が困難になる事態が発生した際に、事業の継続や復旧を速やかに遂行するために策定される計画。



## 無量寿寺のかきつばたと ゴミ集積場について

民友クラブ 稲垣達雄 議員



**問** 中止する「かきつばたまつり」の広報活動はどうするのか。  
**答** ポスターの作成やキャラクター隊のPRは自粛する。パンフレットは来園者用に作成するが、各機関へは配布しない。  
**問** 例年「かきつばたまつり」期間に開催する「ミスかきつばたコンテスト」や「大茶会」「盆

裁の即売」はどうなるのか。

**答** おもてなしのため地元保存会や発展会と相談して開催予定。

**問** 市制50周年を迎える平成32年までに「かきつばたまつり」の花の再生と「かきつばたまつり」の完全復活を市として宣言すべき。

**答** 「かきつばた」は自然生物であり、いつ再生するかは明確でなく、「復活宣言」は難しい。

**問** 市内54か所のゴミ集積場の立ち番の確保はどうか。

**答** 平成27年度にアンケートを実施。3割が確保困難と回答。

**問** 知立市の「ゴミの分け方ガイド」は文字も小さく分かり難い。刈谷市のガイドブックは全26ページで文字も大きく写真やイラストが多く使われ大変分かり易く市民に好評。スポンサー企業CM料が制作費に充当されている。当市も参考にすべき。

**答** A3用紙両面に多くの情報を載せるため簡易的な表現になる。近隣の状況を確認しガイドブックの作成を検討したい。

## 当面する課題

市議会 石川信生 議員



**問** 予算編成時の重点と予算の目玉は。

**答** 大型事業の進行で、大きな新規事業はない。

**問** 5年、10年先を見据えた事業にも目を向け、種をまく必要があるが、例えば多目的広場は庁内で検討しては。観光事業の拡充には、組織として独立の課が必要ではないか。

**答** どうあるべきか研究する。

**問** ふるさと納税の仕組みは。

**答** 返礼品や諸々の手数料などで、50%位必要となる。

**問** ふるさと納税を活用して、返礼品を精査するとともに、用途を具体的にする。「カキツバタ池の再生事業」のように、資金を集める事にも使えるよう、又、この制度を使って市の宣伝に努めるようにしてはどうか。

**答** 検討する。

**問** 図書館のあり方は、様変わりし、民間委託とか、複合施設化してきた。知的活動の拠点として、時代の変化とともに、存

在の意義が変わってきたのでは。

**答** イベント・講座は高評価。複合施設などのにぎわい創出の視点は、全体の議論が必要。

**問** 生涯学習都市宣言の拠点として、独自性を発揮して、「年中無休」にしてはどうか。

**答** 利用者アンケートで75%が月曜日の開館を希望していない。



知立市図書館